令和6年度 体育に関する指導改善計画

大竹市 立 小方

中学校

令和5年度の重点課題

- ・「運動やスポーツをすることが好きですか」の肯定的評価が男子88.2%、女子77.4%とどちらも県平均をわずかに下回った。
- ・男子は、「握力」と「長座体前屈」以外は、 県平均及び全国平均を下回っている。
- ・女子は「20mシャトルラン」以外は、県平 均及び全国平均を下回っている。

上記の課題を受けて具体的に 取り組んだ事項

○保健体育の授業

- ・準備として、リズム体操と補強運動を組み合わせて考案した「小方っ子体操」を、全学年の体育の授業の始めに取り入れた。
- ・運動に対する意欲が高まるように、単元ごとに、 個人の目標を段階的に定めて、達成感を味わえる 様にした。

○休憩時間

昼休憩に体育館やグラウンドの使用を管理し ボールの貸し出しを行い、体を動かす機会を 増やした。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	28.06	26.70	41.53	53.97	88.61		8.10	198.76	19.15	41.53	第2学年	20.58	22.32	48.03	46.13	49.18		9.32	166.00	12.05	46.22

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

	男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
H	第2学年	28.06	26.70	41.53	53.97	88.61		8.10	198.76	19.15	41.53	第2学年	20.58	22.32	48.03	46.13	49.18		9.32	166.00	12.05	46.22

県平均値かつ全国平均値朱満・

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

١.										
13						<u> </u>				
	男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
·	第2学年	86.46	13.54	0.00	0.00	第2学年	66.97	33.03	0.00	0.00

Н

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○準備体操の中で、握力運動など補強運動を取り入れる。

○運動中に音楽を取り入れ、走ることなどに対して、親しみやすい環境づくりを行う。

体力面での課題

重点課題

情意面での課題

・「運動やスポーツをすることが好きですか」の肯定的評価が、 男子・女子ともに100%(前年度比が+11.8% +22.6%)と数値を 上げている。女子が「やや好き」と答えた生徒が3割を超えている。「やや好き」が「好き」になるよう取り組み続ける必要がある。

- ・男子は、「握力」と「長座体前屈」「50m走」「ボール投げ」は県平 均及び全国平均を下回っている。
- ・女子は、「握力」と「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」は 県平均及び全国平均を下回っている。

体育の授業以外で行う取組内容

- ○クラスマッチの種目に、「ドッジボール」を取り入れて、ボールを投げる運動への抵抗感をなくすようにする。
- ○学年ごとに、昼休みの体育館開放を行い,保体委員会でボールの貸し出しを行い、積極的に昼 遊びを行うように働きかける。

令和7年度の 重点目標値

- ○令和6年度のAB率(体力テスト評価A・Bの割合)は43,5%、DE率(体力テスト評価CDの割合)は18.8%、であった。よって、次年度はAB率を50%以上、DE率を15%以下にすることを目標とする。
- 〇令和6年度の意識調査「運動やスポーツが好きですか」の肯定的評価が100%であったため、引き続き100%を維持することと「やや好き」を「好き」することを目標とする。